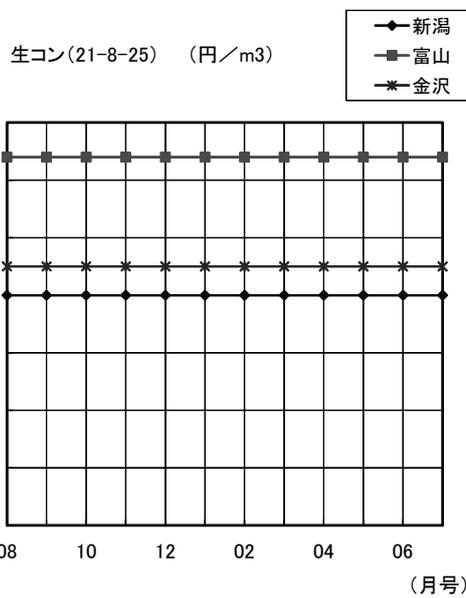
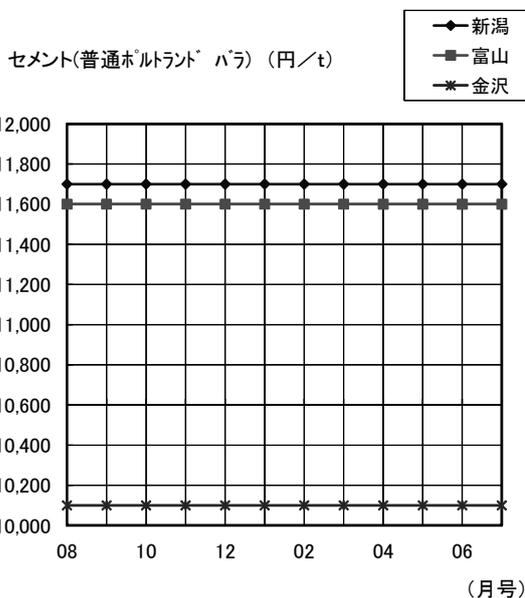


5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

品目	4～6月期の状況と現況	先行き
セメント	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】上越地区においては、引き続き上信越道拡幅工事向けを中心に堅調な荷動きが見られるものの、下越・中越地区では荷動きは盛り上がりを見せている。製造コストに影響する輸入石炭の価格動向への懸念が落ち着きを見せていることから、各メーカーでは積み残しとなっている値上げ分の交渉には慎重な姿勢をみせている。当面、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】メーカー側は、引き続き値上げの姿勢を崩していない。しかし、主たる販売先の生コンクリート需要が冷え込んでおり、需要者側の購入姿勢が厳しい中、値上げに向けた具体的な動きは見られず、啗えに終始している。ここしばらくは横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】北陸新幹線関連や金沢外環状道路工事向けに、生コンクリート用および工事口の需要が増加する一方で、コンクリート二次製品向けは需要が低調に推移していることから、総じてセメントの荷動きは冴えない。需給関係が引き締まりに欠く展開が続く中、需要者側の指し値は厳しく、販売側は価格の維持が最優先の課題となっている。先行き、横ばい。</p>	<p>(パワ物)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
生コンクリート	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新潟地区では前年の残契約が出荷の中心で、荷動きは低調に推移している。数量優先の販売姿勢をとり出荷量を徐々に伸ばしている非組合員各社に対し、採算第一と価格維持に注力する協同組合は、出荷量の落ち込みに危機感を強めている。29年度の需要見通しは不透明ながら減少すると見る向きが多い中、協組、非組合員ともに市況下落に繋がる受注競争は避けたい意向を強めている。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】県内の各協組における平成29年度の需要見通しは、概ね前年度並となっている。しかし、各地区とも需要の不透明感は強く、想定を下回るのではないかとの見方が早くも出始めている。原材料の価格が横ばいで推移していることで、各協組とも当面は現行の販売価格水準を維持する構え。富山地区では非組合員が複数存在していることで、一部で競争が見られるものの、協組では高強度規格の安定供給を軸に非組合員との差別化を図り、受注競争を回避する姿勢を示している。先行き、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】北陸新幹線延伸工事向け出荷が好調な南加賀地区を除き、各地区ともに荷動きは低調に推移している。骨材、セメント等の原材料価格が横ばいで推移する中、各協組は共同販売事業を軸として現行価格維持に注力しており、動意は見られない。先行き、横ばい推移が続く見通し。</p>	<p>(21-8-25)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
骨材	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新年度入り後も荷動き冴えず、販売側の在庫は増加傾向にある。新潟地区では、河川護岸や新設バイパス工事が予定されているものの、引き合いは秋以降になる見通し。数量確保に急ぐ一部の業者に対し、大勢は利益確保には価格維持が必須として追随する動きは見られていない。需要者との交渉の場面も乏しく、当面、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】道路工事向けの需要が少ないことで、荷動きは閑散としており、需要者側の指し値は依然厳しいものとなっている。しかし、骨材採取の認可が遅れ気味との声の一部が出始めており、生産側ではこうした背景を理由に、需要者側の安易な安値には応じない姿勢を示している。先行き、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】福井方面への北陸新幹線延伸工事関連の需要が下支えとなり、路盤材の荷動きは好調。需要の中心は再生材であるが、建築解体工事の減少を映してRC材が不足する場面が散見され、代替品としての新材の引き合いも増えている。こうした中、一部の販売業者は需給引き締まりを背景に、価格引き上げを求めているが、需要者の購買姿勢は厳しく、取り組みは進展していない。目先、横ばいで推移する公算大。</p>	<p>(C-40)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>

【価格推移】



品目	4～6月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p style="text-align: center;">3県弱含み</p> <p>【新潟県】春先以降、メーカーの値上げ打ち出しを受けて、値上げ幅の一部が市中に浸透し、4月にt当たり1,000円の上伸を示した。しかし、じり高傾向にあった鉄屑価格が弱基調に転じたことにより、需要者には様子見のムードが台頭。5月、6月と価格は横ばいで推移した。メーカーの売り腰は強いものの、県内の引き合いは閑散とした状況が続き、流通側では物件確保を目的に需要者の指し値に応じる場面が散見される。当面は市況好転の材料が乏しく、先行き、弱含みで推移する見通し。</p> <p>【富山県・石川県】メーカーは副資材、輸送コスト、電力料金の値上がり理由に値上げを実施。販売側も採算悪化を避けるべく売り腰を強め、価格は4月にt当たり3,000円の上伸を示した。しかし、需要者は需要の減少と鉄屑相場の軟化を背景に値引き圧力を強め、価格は6月にt当たり1,000円の下落を示した。需要の本格化までには時間を要すると見る向きが多く、需要者側の値引き要求はしばらく続く見通し。先行き、弱含みで推移しよう。</p>	<p>先行き</p> <p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
コンクリート二次製品	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】前年度後半から荷動きは鈍く、冴えない商状が続いている。販売側では採算重視の姿勢を強めており、販売競争を避け、需要見合いの生産体制により市況の維持を図っている。一方、汎用品とは異なり独自のブランド製品に関しては、強気の販売姿勢で需要者との価格交渉に当り、利益の確保に注力している。先行きの需要は不透明ながら、目先、横ばいで推移すると見る向きが多い。</p> <p>【富山県】年度繰越しの残工事も少ないことで、荷動きは低調に推移している。道路用製品については、新設工事の物件が乏しく、引き合いは少ない。このため、メーカー側は農業用製品の販売に期待を高めているものの、荷動きは秋口以降となる見通し。メーカーは生産調整を図り、需給バランスを保つ意向。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】前年度繰越し工事向けの出荷が中心で、荷動きは鈍い。昨年度に続き、今年度も需要の回復には期待薄と見る向きが多く、販売側は売り腰を引き締め、市況の維持が最優先との姿勢を見せている。一部のメーカーでは、収支改善に向け販売価格の見直しを唱えているが、価格引き上げへの各社の足並みが揃っていないため、交渉は進展していない。目先、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>
アスファルト合材	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】平成29年度第一四半期(4-6月)における県内需要は前年同期比を上回ったが、高速道路向けの大口需要を除くと総じて小口案件が多く、市中に活気は見られない。こうした中、需要者からの値引き要求は恒常化しているものの、昨年度終盤にスト・アス価格が上昇していることから、メーカー各社は、引き続き採算重視の姿勢を徹底していく構え。当面、現行値圏内を横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】販売側は、昨年度末に値上がりしたスト・アスの上昇分を販売価格へ転嫁するタイミングを見計らっているものの、需要者側の購入姿勢は厳しく、むしろ価格維持が精いっぱい状況。需要者に理解を得られるには時間がかかると見る向きが多く、当面、市況は横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】官公需を中心とした舗装工事物件の減少を背景に、県内各地区で需要は減少傾向にある。需要者からの指し値が厳しさを増す中、上昇基調が続いていた原材料のスト・アス価格も新年度以降は横ばいで推移していることから、販売側では現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟)</p> <p>(富山)</p> <p>(金沢)</p>

【価格推移】

